

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553) 8118
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	23,603	△3.5	743	△22.1	687	△26.6	10	△95.0
29年12月期第3四半期	24,450	3.7	954	25.9	936	40.6	208	56.3

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 18百万円 (△91.9%) 29年12月期第3四半期 225百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	0.57	0.56
29年12月期第3四半期	11.33	11.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	15,709	4,405	26.2	222.94
29年12月期	16,937	4,475	24.2	223.11

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 4,111百万円 29年12月期 4,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△1.3	1,250	13.2	1,150	6.9	500	17.5	27.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	18,444,200株	29年12月期	18,430,200株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	ー株	29年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	18,435,713株	29年12月期3Q	18,393,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～9月30日)における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、個人消費も緩やかな回復基調にあるものの、世界の政治・経済情勢への懸念など、先行きが不透明な状況が続きました。外食業界におきましても、原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇に加え、天候不順等の自然災害の影響等により、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、当社の主力である築地銀だこ事業に経営資源を集中させることを戦略に掲げ、店舗展開及び冷凍たこ焼をはじめとした製造販売事業や海外事業等を推進してまいりました。主力ブランドの「築地銀だこ」においては、主要原材料のたこの世界的な価格高騰や他副原材料及び包装資材、物流費や人件費などのコストアップが年々続いていることから、商品価格の改定を7月1日に実施しましたが、「ニッポンのタコヤキは、タノシイ。」をスローガンにした販売促進活動などを積極的に取り組んだこと等が奏功し、第3四半期会計期間における既存店売上高は前年同期比100%を超える好調な推移でありました。出店につきましては、「銀だこ大衆酒場」及び「銀だこハイボール酒場」の積極的な展開に取り組みました。「銀だこ大衆酒場」業態は、1月の上野1号店、3月の上野アメ横2号店、5月の王子店3号店に続き、7月に青物横丁店、大森店の2店舗を、9月には大塚南口店、亀有北口店の2店舗をオープンいたしました。若年層からファミリー・ご高齢の方まで幅広い客層にご利用いただき、昼も夜もカジュアルに楽しめる業態としてご好評をいただいております。「銀だこハイボール酒場」業態では、8月22日に「ギンダコハイボール横丁 五反田店」をオープンいたしました。同店は、昨年再開発のために閉店した五反田店の復活オープンとなり、都内最大規模でハイボール業態の新たな旗艦店となります。

「COLD STONE CREAMERY」においては、引き続き、店舗主体のビジネスモデルから製造・卸事業の拡大へ向けて事業構造の転換に取り組み、コンビニエンスストアをはじめとした卸事業の新商品開発などに注力いたしました。製造販売事業においては、昨年より「冷凍たこ焼」の販売を開始し、全国で500店舗以上を展開するカラオケチェーンでの販売も始まる等、さらなる販路拡大に取り組んでおります。

海外事業においては、米国におけるアークランドサービスホールディングス株式会社との合弁会社による米国1号店となる「築地銀だこ(GINDACO)」を8月1日にカリフォルニア州ロサンゼルス市の都市ガーデナにオープンし、8月13日には2号店「からやま(KARAYAMA)」を同じくロサンゼルス市のリトルトーキョーにオープンいたしました。また、ASEANにおいても、銀だこインドネシア1号店を8月8日に、2号店を8月18日にオープンいたしました。

当連結会計年度は前期に引き続き不採算事業及び不採算店舗の積極的な整理に取り組んでおります。足元の主力事業は堅調に推移しているものの、前期及び当期に実施した不採算事業、不採算店舗の見直しや、一部海外事業の低迷なども影響し、当第3四半期連結累計期間における売上高は23,603百万円(前年同期比3.5%減)となりました。利益につきましては、前述要因に加え主要原材料のたこの仕入価格の高騰等により、営業利益は743百万円(前年同期比22.1%減)、経常利益は687百万円(前年同期比26.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述要因に加え固定資産除却損等の計上により、10百万円(前年同期比95.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,227百万円減少し、15,709百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が453百万円減少、たな卸資産が348百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,157百万円減少し、11,304百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が2,974百万円増加した一方、短期借入金が3,016百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が646百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて70百万円減少し、4,405百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益10百万円を計上した一方、剰余金の配当により利益剰余金が92百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月15日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,755,725	1,692,132
受取手形及び売掛金	2,511,444	2,057,606
たな卸資産	2,048,528	1,699,672
その他	860,925	544,945
貸倒引当金	△18,301	△11,536
流動資産合計	7,158,322	5,982,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,813,555	4,911,034
その他(純額)	1,161,078	1,117,751
有形固定資産合計	5,974,633	6,028,786
無形固定資産		
のれん	218,492	141,895
その他	231,617	211,179
無形固定資産合計	450,109	353,074
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,218,479	2,249,139
その他	1,140,841	1,100,750
貸倒引当金	△4,820	△4,820
投資その他の資産合計	3,354,501	3,345,069
固定資産合計	9,779,244	9,726,931
資産合計	16,937,567	15,709,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,211,422	1,094,218
短期借入金	4,404,771	1,388,000
1年内返済予定の長期借入金	1,491,354	844,902
未払法人税等	290,692	105,842
賞与引当金	70,114	149,047
資産除去債務	36,228	5,464
その他	2,224,970	2,108,768
流動負債合計	9,729,555	5,696,243
固定負債		
長期借入金	1,400,911	4,375,786
資産除去債務	453,561	457,105
退職給付に係る負債	50,922	51,680
その他	826,774	723,428
固定負債合計	2,732,169	5,608,000
負債合計	12,461,724	11,304,243

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,678,519	1,680,269
資本剰余金	1,570,525	1,572,275
利益剰余金	878,938	797,296
株主資本合計	4,127,984	4,049,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,759	10,462
為替換算調整勘定	4,052	△2,713
退職給付に係る調整累計額	△2,509	△1,935
繰延ヘッジ損益	△26,381	56,293
その他の包括利益累計額合計	△16,078	62,106
非支配株主持分	363,937	293,559
純資産合計	4,475,843	4,405,507
負債純資産合計	16,937,567	15,709,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	24,450,592	23,603,332
売上原価	9,712,563	9,577,704
売上総利益	14,738,028	14,025,627
販売費及び一般管理費	13,783,824	13,281,909
営業利益	954,203	743,718
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,760	1,685
その他	22,590	8,561
営業外収益合計	24,350	10,247
営業外費用		
支払利息	23,777	24,266
為替差損	7,436	2,038
支払手数料	2,652	25,316
持分法による投資損失	5,498	11,115
その他	2,572	3,290
営業外費用合計	41,937	66,026
経常利益	936,616	687,939
特別利益		
固定資産売却益	478	3,174
子会社株式売却益	601	—
受取補償金	—	16,755
特別利益合計	1,080	19,929
特別損失		
固定資産除却損	270,443	244,575
固定資産売却損	—	4,896
店舗整理損失	136,551	181,636
減損損失	78,973	125,905
その他	1,525	—
特別損失合計	487,494	557,013
税金等調整前四半期純利益	450,202	150,855
法人税、住民税及び事業税	162,384	88,288
法人税等調整額	89,261	117,648
法人税等合計	251,646	205,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,556	△55,081
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,934	△65,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,491	10,509

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,556	△55,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	720	1,702
為替換算調整勘定	43,899	△11,554
退職給付に係る調整額	856	574
繰延ヘッジ損益	△19,007	82,675
その他の包括利益合計	26,468	73,397
四半期包括利益	225,024	18,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,799	88,694
非支配株主に係る四半期包括利益	9,225	△70,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。